

エコアクション21
2023年度 環境経営レポート
(2023年9月～2024年 8月)



株式会社 広田工務店

作成日:2024年 12月15日

環境経営レポート目次

1. 組織の概要及び、認証・登録の対象組織・活動	P-1
2. 実施体制	P-2
3. 環境経営方針	P-3
4. 環境経営目標	P-4
5. 環境経営活動計画	P-5
6. 環境活動の紹介	P-6～P-8
7. 環境経営目標の実績・その評価	P-9・P-10
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価 及び次年度取組	P-11
9. 環境関係法規等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反、訴訟等の有無	P-12
10. 代表者による全体の取組み状況の評価と見直し	P-13

■組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 広田工務店
代表取締役 廣田 栄作
- (2) 所在地
〒814-0163 福岡県福岡市早良区干隈6丁目5番3号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者
環境管理責任者 取締役副社長 廣田 匡則
EA21担当者 総務部 梶原 孝夫
- (4) 事業内容
建設工事の設計及び施工
a)特定建設業 福岡県知事許可(特-1)第27245号
許可を受けた業種 建築工事業・解体工事業
b)宅地建物取引業 福岡県知事許可(11)第7747号
c)一級建築士事務所 福岡県知事許可 第1-11122号
- (5) 事業の規模
- | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-----------|---------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 1,289 | 1,413 | 1,817 |
| 従業員 | 22名 | 22名 | 24名 |
| 延床面積 | 518.92㎡ | | |
- (6) 事業年度 9月～翌年8月

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 広田工務店

活動: 建設工事の設計及び施工

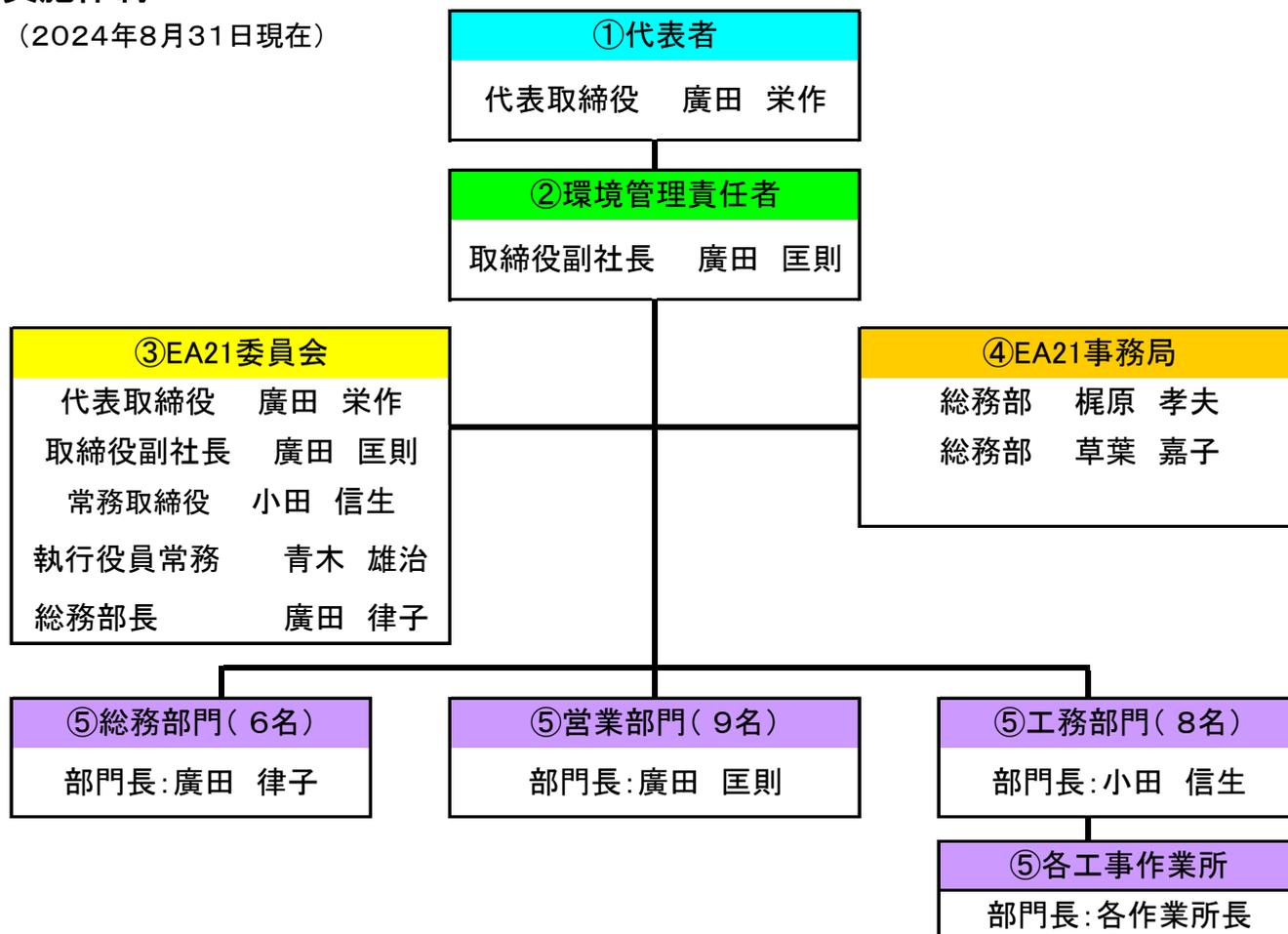
事務所 オフィス活動等(施設管理業務を含む)
計画・設計・積算等に係わる活動
その他の活動(地域貢献等)

建設現場 施工～改修～解体工事等に係わる活動
SDSを入手し化学物質の保守管理活動
その他の活動(地域貢献等)



■実施体制

(2024年8月31日現在)



所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
①代表者(代表取締役) 廣田 栄作	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を定め、全社員に周知し、全体評価と見直しを行う。 環境経営目標や、環境経営活動計画の承認。 環境への取組を実施するための資源(人・物・金等)を準備する。 環境全般について責任と権限を持ち、効果的な実施体制を構築し、評価と見直しを行う。
②環境管理責任者 廣田 匡則	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させ、その結果を代表者に報告する。 EA21文書類、環境経営レポート等の確認。
③EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実行状況を審議する。 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実行状況の評価を事業年度を4期に分けて行ない、評価会議を1月・4月・7月・10月に実施する。
④EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書類の作成・維持・管理を行なう。
⑤各部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する。 各部署内での環境経営活動計画の実施と確認を行なう。 各部署内での環境教育や訓練の実施と、問題点の把握、是正及び予防。
⑥全社員	<ul style="list-style-type: none"> 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。 協力業者への協力要請及び、活動指示。

創業以来、地域の皆さまの信頼に支えられた 広田工務店の歩み



環境経営方針

〈 環境理念 〉

1. 誠意と努力で明日を築く建設業を目指し、設計・施工の技術力向上により地球温暖化防止、地球環境保全の為、継続的改善を図る。
2. 災害防止に努め、より良い社会環境づくりに貢献する。

〈 環境基本方針 〉

1. 化石燃料、電気、ガス等のエネルギー使用量の削減を心がけ、環境保全に配慮した事業活動に努める。
2. 水資源の有効利用と水使用量の削減、環境保全を考慮し、良好な地域環境の維持をはかる。
3. 環境負荷の低減を心がけ、再生資材利用及び、廃棄物のリサイクル推進、廃棄物量の削減に努める。又、建設資材の有効利用に配慮する。
4. 化学物質を使用する場合は、適正管理に努める。又、資材調達の際は環境に配慮した資材調達を心掛ける。
5. 環境に配慮した建築物の設計・施工に努め、お客様に支持される会社を目指し、且つ、施工時の環境負荷低減に努める。
6. 設計・施工時の環境への影響を考慮し、使用する資材の選定や、住まいの快適化を追求した住宅建設を目指し、社員研修や業務効率化等を推進する。又、社員福祉向上等に努め働き方改革を進める。
7. グリーン購入や建築資材のグリーン調達を進める。
8. 環境関連法令等を遵守し、環境管理の意識を高める。
9. 行政機関・地域団体の地域環境保全対策に協力し、地域社会の環境保全活動に積極的に参加し、貢献する。

制定日；2010年10月26日
改訂日；2023年 2月 1日

株式会社 広田工務店
代表取締役 廣田 栄作

環境経営目標

		年度	サイト 区分	単位	2019年度 基準年	2021年度 目標 2%削減	2022年度 目標 3%削減	2023年度 目標 4%削減	2024年度 目標 5%削減
環境経営目標項目									
二酸化炭素の削減(総排出量)			全社	kg-CO2	76,800	75,264	74,496	73,728	72,960
電気	電気使用量削減		全社	kWh	39,000	38,220	37,830	37,440	37,050
			事務所	kWh	12,000	11,760	11,640	11,520	11,400
			現場	kWh	27,000	26,460	26,190	25,920	25,650
ガソリン	ガソリン		事務所	ℓ	7,500	7,350	7,275	7,200	7,125
	建設現場ガソリン(軽油使用無)		現場	ℓ	16,000	15,680	15,520	15,360	15,200
灯油	灯油使用量削減		事務所	ℓ	1,700	1,666	629	1,632	1,615
廃棄物排出量の削減									
	一般廃棄物排出量削減		事務所	kg	850	833	825	816	808
	産業廃棄物排出量把握		現場	t	430	排出量把握	排出量把握	排出量把握	排出量把握
	産業廃棄物リサイクル 向上		現場	%	85%	87%	88%	89%	90%
水使用量削減									
	全社水使用量		全社	m ³	810	794	785.7	778	770
	事務所水使用量削減		事務所	m ³	130	127	126.1	125	124
	現場水使用量削減		現場	m ³	680	666	659.6	653	646
グリーン購入・調達の推進									
	事務所(文具・用紙等)		事務所	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
	再生材(砕石・アスファルト合材等)		現場	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
	再生材(木材・内装材等)		現場	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
建設リサイクル推進			現場	—	配慮している	資源の有効利用の為、再利用を促進する。			
化学物質使用上の適正管理			現場	安全データシート(SDS)を取寄せ分析する。継続してデータ収集を行い、化学物質の使用上の適正管理に努める。					
地域社会貢献推進			全社	現場周辺地域の清掃、エコキャップ等の収集活動への参加協力、各種団体等が主催する地域社会貢献活動への参加協力する。					
課題とチャンスの具現化と本業の業務改善									
お客様へ喜ばれる建築活動 建築物受注の確保			現場	設計段階から施工段階まで環境に配慮した設計提案と施工時の環境配慮による受注向上に結びつけ施工時の業務改善効率化を行い、お客様から信頼される建築工事を行う。					
働き方改革の推進			全社	自社の強みを強化し、弱点を補完し、従業員の能力を引き出す。保険の加入や福祉向上で従業員が安心して働ける環境づくりを行う。(働き方改革)					
従業員教育と資格取得推進			全社	建設業等での必要な資格取得の為のOJTや資格取得者への優遇制度で企業の参加意識向上、IT教育機会などを設けて業務改善に結びつける。					
事故未然防止への取組			全社	協力会社を含め、事故につながる危険予知を考慮し、適切に安全教育と訓練を実施する。					

※基準の電力消費における二酸化炭素排出係数は、九州電力調整後排出係数;0.479kg-CO2/kWhを用いています。

※二酸化炭素総排出量には電気、ガソリンの他、灯油も含まれています。



■2023年度環境経営活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		責任者	達成手段		実施者
1	電気使用量の削減	各担当部 所長	1	エアコンの設定温度を決め、実行する	全社員
			2	照明器具の昼休等の時間外や離席時の消灯	〃
			3	パソコン未使用時、電源を切る	〃
2	ガソリン使用量の削減	各担当部 所長	1	急発進・急停止を避け、アイドリングストップを実行	全社員
			2	エコドライブを心がけ、燃費の向上を図る	〃
3	灯油使用量の削減	廣田(律)	1	大型ストーブのこまめな温度調整	内勤者

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	一般廃棄物排出量削減	廣田(律)	1	分別回収・リサイクルの推進	全社員
2	産業廃棄物排出量把握	各現場所長	2	マニフェストによる管理	〃
	産業廃棄物リサイクル向上		3	産業廃棄物の分別回収	〃

3. 水使用量の削減

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	節水活動	各担当部 所長	1	水を出しっぱなしにしない	全社員
			2	漏水の点検及び節水の意識付け	〃

4. グリーン購入の推進

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	グリーン購入の推進	各担当部所長	1	リサイクル商品やエコ商品等の購入	全社員

5. 建設リサイクルの推進

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	建設資材リサイクルの推進	各現場所長	1	建築資材の再生品使用の推進	全社員
			2	特定建築資材の分別廃棄を勧め資材有効活用	〃

6. 化学物質の把握

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	化学物質使用上の適正管理	各現場所長	1	現場で使用する物質のSDSを取寄せ分析する	全社員
			2	使用する物質に含まれる化学物質の適正管理をする	〃

7. 地域社会貢献推進

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	地域社会貢献の推進	各担当部 所長	1	近隣地域等の清掃活動の実施	全社員
			2	リングプルや使用済カード・古切手等の収集に参加	〃

8. お客様へ喜ばれる建築活動

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	お客様へ喜ばれる建築活動	各担当部所長	1	環境に配慮した施工計画の提案	全社員

9. 働き方改革の推進

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	働き方改革の推進	各担当部所長	1	次世代法・女性活躍推進法の事業主行動計画の実行	全社員

10. 従業員教育と資格取得推進

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	従業員教育と資格取得推進	各担当部所長	1	資格手当の充実やOJTなどの活用	全社員

11. 事故未然防止への取組

取組目標		責任者	活動項目		実施者
1	事故未然防止の取組	各担当部所長	1	月1回の安全パトロールの充実	全社員

■環境活動の紹介

☆現場での環境上の緊急事態の対応と訓練状況
現場にて環境上の検討会の実施をしています



現場での実施状況



机上で手順書を確認しながらの実施状況

☆エコドライブ・アイドリングストップへの取組



エコドライブ走行中

信号待ちでアイドリングストップ実行中



☆地域社会貢献活動

会社のご近所を毎朝朝礼前に清掃しています(継続しています)



環境美化運動の一環で、会社の植込みの他にもプランターを設置しています



リングプル等の収集

ペットボトルのキャップ、リングプルを収集して、スーパーの店頭等、回収している所に持ち込んでいます。



古切手収集

☆グリーン購入



コピー用紙



軍手



作業服

社内の掲示物関係(省エネを継続して呼掛けています)

社内のエアコンの温度管理の目安



社内の照明(LED)も離席時消灯できるよう、全ての照明器具をプラススイッチ付きにして、離席時消灯を呼掛け。



リサイクル古紙等の社内での保管場所
古新聞や古い書籍等も紐で束ねて保管します。



節水の呼掛け



リサイクル業者が収集にくるリサイクル古紙置場
体重計で重量測定後、搬出です。

産廃置場が設置できない
現場から持ち帰った廃材を入れる
2tコンテナです。



■環境経営目標の実績

2023年度(2023年9月～2024年8月)

□取組結果

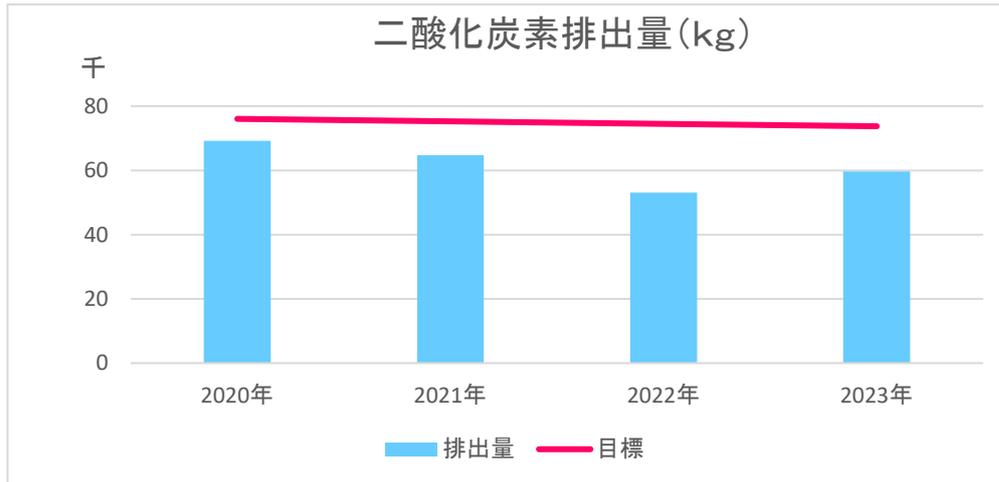
 2023年度における取組結果は次の通りであった。
 (判定区分 ○:目標達成率100%以上 △90%以上100%未満 ×:90%未満)

環境経営目標項目	年度	サイト区分	単位	2019年度	2023年度			目標達成の実績
				基準年	目標 4%削減	実績	目標 達成率	
二酸化炭素の削減(総量)		全社	kg-CO2	76,800	73,728	59,690	124%	○
電気	電気使用量削減	全社	kWh	39,000	37,440	41,027	91%	△
		事務所	kWh	12,000	11,520	12,714	91%	△
		現場	kWh	27,000	25,920	28,313	92%	△
ガソリン	ガソリン	事務所	ℓ	7,500	7,200	6,378	113%	○
	建設現場ガソリン(軽油使用無)	現場	ℓ	16,000	15,360	9,565	161%	○
灯油	灯油使用量削減	事務所	ℓ	1,700	1,632	1,224	133%	○
廃棄物排出量の削減								
	一般廃棄物排出量削減	事務所	kg	850	816	778	105%	○
	産業廃棄物排出量把握	現場	t	430	実績把握	1,618		—
	産業廃棄物リサイクル 向上	現場	%	85%	89%	95%	107%	○
水使用量削減								
	全社水使用量	全社	m ³	810	786	609	129%	○
	事務所水使用量削減	事務所	m ³	130	126	107	118%	○
	現場水使用量削減	現場	m ³	680	660	502	131%	○
グリーン購入・調達の推進								
	事務所(文具・用紙等)	事務所	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
	再生材(砕石・アスファルト合材等)	現場	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
	再生材(木材・内装材等)	現場	—	配慮している	購入時に配慮しているので維持継続			
建設リサイクル推進		現場	—	配慮している	資源の有効利用の為、再利用を促進する。			
化学物質使用上の適正管理		現場	安全データシート(SDS)を取寄せ分析する。継続してデータ収集を行い、化学物質の使用上の適正管理に努める。					
地域社会貢献推進		全社	現場周辺地域の清掃、エコキャップ等の収集活動への参加協力、各種団体等が主催する地域社会貢献活動への参加協力する。					
課題とチャンスの具現化と本業の業務改善								
お客様へ喜ばれる建築活動 建築物受注の確保		現場	設計段階から施工段階まで環境に配慮した設計提案と施工時の環境配慮による受注向上に結びつけ施工時の業務改善効率化を行い、お客様から信頼される建築工事を行う。 ※提案件数、内容の評価を共有し業務改善に結びつける。					
働き方改革の推進		全社	自社の強みを強化し、弱点を補完し、従業員の能力を引き出す。保険の加入や福祉向上で従業員が安心して働ける環境づくりを行う。(働き方改革)					
従業員教育と資格取得推進		全社	建設業等での必要な資格取得の為のOJTや資格取得者への優遇制度で企業の参加意識向上、IT教育機会などを設けて業務改善に結びつける。					
事故未然防止への取組		全社	協会会社を含め、事故につながる危険予知を考慮し、適切に安全教育と訓練を実施する。					

※二酸化炭素総排出量には電気、ガソリンの他、灯油も含まれています。

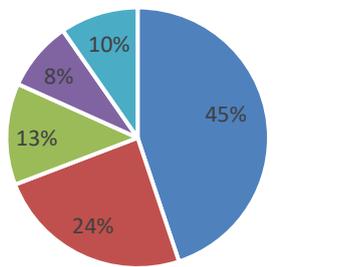


環境目標と実績グラフ



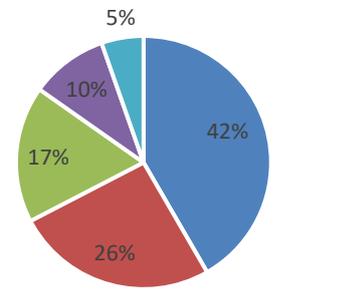
年度	2020年	2021年	2022年	2023年
目標	76,032	75,264	74,496	73,728
排出量	69,154	64,709	53,131	59,690

2020年度排出量



■ 現場ガソリン ■ 事務所ガソリン ■ 現場電気
■ 事務所電気 ■ 灯油

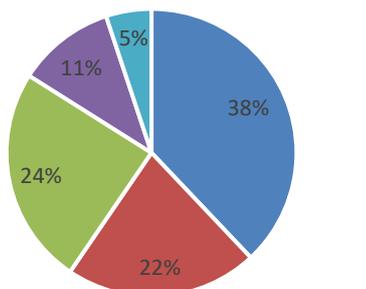
2021年度排出量



■ 現場ガソリン ■ 事務所ガソリン ■ 現場電気
■ 事務所電気 ■ 灯油

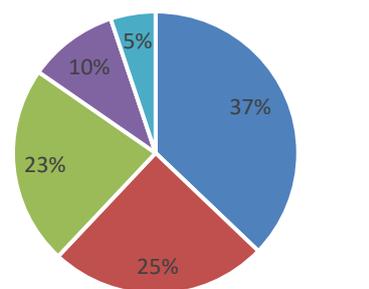
2020年度	現場ガソリン	事務所ガソリン	現場電気	事務所電気	灯油	2021年度	現場ガソリン	事務所ガソリン	現場電気	事務所電気	灯油
排出量	31,032	16,768	8,712	5,943	6,659	排出量	26,964	16,602	11,293	6,375	3,451

2022年度排出量



■ 現場ガソリン ■ 事務所ガソリン ■ 現場電気
■ 事務所電気 ■ 灯油

2023年度排出量



■ 現場ガソリン ■ 事務所ガソリン ■ 現場電気
■ 事務所電気 ■ 灯油

2022年度	現場ガソリン	事務所ガソリン	現場電気	事務所電気	灯油	2023年度	現場ガソリン	事務所ガソリン	現場電気	事務所電気	灯油
排出量	20,184	11,426	13,018	5,808	2,694	排出量	22,192	14,798	13,561	6,090	3,047

■2023年度の環境経営活動計画の取組結果とその評価及び次年度取組み

※次年度の環境目標は中期環境目標に記載内容で設定しています。

1. 二酸化炭素の削減(総量)

取組目標	責任者	達成手段	実施者	取組結果	次年度取組
1 電気使用量の削減	各担当 部所長	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	全社員	△	次年度継続 エアコン買 替効果確認
		2 照明器具の昼休等の時間外や離席時の消灯	〃	○	
		3 パソコン未使用時、電源を切る	〃	○	
2 ガソリン使用量の削減	各担当 部所長	1 急発進・急停止を避け、アイドリングストップの実行	全社員	○	燃費把握と 改善
		2 エコドライブを心がけ、燃費の向上を図る	〃	○	
3 灯油使用量の削減	廣田(律)	1 大型ストーブのこまめな温度調整	内勤者	○	温度確認

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 一般廃棄物排出量削減	廣田(律)	1 分別回収・リサイクルの推進	全社員	○	次年度も継続 資材有効活 用
2 産業廃棄物排出量把握 産業廃棄物リサイクル向上	各担当 部所長	2 マニフェストによる管理	〃	○	
		3 産業廃棄物の分別回収	〃	○	

3. 水使用量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 節水活動	各担当 部所長	1 水を出しっぱなしにしない	全社員	○	次年度継続
		2 漏水の点検及び節水の意識付け	〃	○	

4. グリーン購入の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 グリーン購入の推進	各担当 部所長	1 リサイクル商品やエコ商品等の購入	全社員	○	継続

5. 建設リサイクルの推進

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 建設資材リサイクルの推進	各担当 部所長	1 建築資材の再生品の優先使用の推進	全社員	○	更なる資材 有効活用
		2 特定建築資材の分別廃棄	〃	○	

6. 化学物質の把握

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 化学物質使用上の適正管理	各現場 所長	1 現場で使用する物質のSDSを取寄せ分析する	全社員	○	取組レベル 向上
		2 使用する物質に含まれる化学物質の適正管理をする	〃	○	

7. 地域社会貢献推進

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 地域社会貢献の推進	各担当 部所長	1 近隣地域等の清掃活動の実施	全社員	○	継続
		2 リングプルや使用済カード・古切手等の収集に参加	〃	○	

8. お客様へ喜ばれる建築活動

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 お客様へ喜ばれる建築活動	各担当 部所長	1 環境に配慮した施工計画の提案	全社員	○	提案力向上

9. 働き方改革の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 働き方改革の推進	各担当 部所長	1 次世代法・女性活躍推進法の事業主行動計画の実行	全社員	○	継続

10. 従業員教育と資格取得推進

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 従業員教育と資格取得推進	各担当 部所長	1 資格手当の充実やOJTなどの活用	全社員	○	継続

11. 事故未然防止への取組

取組目標	責任者	活動項目	実施者	取組結果	次年度取組
1 事故未然防止の取組	各担当 部所長	1 月1回の安全パトロールの充実	全社員	○	継続

■環境経営活動計画の評価と次年度の取組内容

・2023年度の活動計画の取組結果で、取組がよくできていた内容については、継続して取組を行う。

 ・今年度の夏は猛暑のため、エアコンの設定温度を27度に下げたことにより、電気の使用量が増えてきて
 ・いる。又今年度も、冬期は換気のため窓等を開けたため、個別で使用している暖房機の使用量が多くな
 ・ったと思われる。エアコンを暖房はエアコンを使用するか、最新の暖房機の買換が必要となると思われる。

 ・今年度は解体等を含む工事が多く、産業廃棄物排出量は増加したが、リサイクル率については目標値を上回った。
 産業廃棄物排出量の把握をしっかりと行い、今後もリサイクル率向上を行って参りたい。

■環境関係法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

主な関係法令

法規制等の名称	該当する活動等	確認結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理、管理票交付状況の報告	○
騒音・振動規制法	特定建設作業の実施の届出	○
労働安全衛生法	作業環境の充実	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理	○
消防法	消防設備等の点検	○
大気汚染防止法	石綿の発散及び飛散防止対策	○
建築基準法	F☆☆☆☆マーク表示製品の使用	○
建設リサイクル法	届出の提出、分別解体、再資源化等の実施	○
建築物省エネ法	建築物のエネルギー消費性能の向上を図る	○

2023年度の、上記の関係法規等の表にある法規制について、関係法規等を遵守しており、違反等の指摘や、訴訟等もありませんでした。



代表者による全体の取組み状況の評価と見直し

■取組み状況の評価結果

①環境関係法規制等の遵守状況(文書類-5による)

法令の遵守は今年度も継続してなされているようだ。環境関係法令も各種法改正が行われた際は、改正後の法律(特に産業廃棄物関係や安全衛生法など)の把握し、理解して継続して遵守していきたい。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況

今年度は前年度に引き続き、工事量が増加した。取組状況や活動計画・目標についても、従業員の努力により概ね達成された。

廃棄物処理については、リサイクルの動きが一層活発になり、社内でも積極的にリサイクル活動が行われています。今後も早めの情報収集と対応を続けてほしい。

<改善への提案>

節電・節水など、省エネに対する全員の意識は高まっているように思われます。冬期の暖房については、石油ストーブの使用や各自の暖房器具の利用があるため、抜本的な改革が必要です。

各車両の月々の燃費を計算し、運転者が燃費向上を図るよう取り組んでいる。

■目標・環境経営活動計画の達成状況

今年度も昨年同様に、工事量が増加し、ほぼ目標達成しているようだ。

日頃から継続して目標を達成できるよう願いたい。

<改善への提案>

作業服や防寒着をエコマーク付きに変えることで、グリーン購入への意識向上を図っており、現場でのリサイクル意識も高まっている。資材についてもリサイクルの使用率をさらに高めてもらいたい。

また、エコドライブやアイドリングストップなどの取組みも引き続き継続してもらいたい。

■周囲の変化の状況

①外部コミュニケーション記録より

各現場担当者が周囲へのちょっとした気遣いや心配りをする中で、工事中のトラブル回避や将来的な現場営業につながってくるため、近隣とのコミュニケーションを重視して現場運営を行っていく必要がある。

②現場では、周辺地域の清掃や挨拶、声かけなどを地域社会貢献の一環として推進したいと考えている。

工事の内容が新築だけでなく改築・改修も含まれる場合、近隣住民だけでなく、入居者や施設利用者にも注意を払う必要がある。そのため、第三者の事故や災害防止に常に配慮しながら現場運営を行うことの重要性を再認識してもらいたい。

<改善への提案>

今後も環境に関することはもちろん、その他の事柄についても近隣や地域などからの苦情や要望があった場合には、しっかりと検討し、迅速に対応するよう心がけてほしいと思います。